



革と弦の響演

和楽器演奏集団 独楽(こま)と、今話題の津軽三味線がスーパーコラボをはたしました。伝統的な邦楽器の演奏を踏襲しながらも、洋楽に馴染んだ若手ならではの斬新な構成、そしてメロディアスな曲目とパフォーマンス溢れる内容。「和」を堪能していただけるコンサートです。

PROGRAM プログラム例

1 俄 [にわか]

始まりは、舞台後方から神々が登場します。舞台の成功を祈り、太鼓を叩き舞い踊ります。

2 波音 [はね]

揺らぐ波、弾ける波、逆巻く波、波の激しさ優しさを箏と三味線で表現します。波を音に。音が波に。

3 光の路

体内に洋楽のリズムが流れる若手ならではの一曲です。邦楽器の新たな魅力を感じとれます。

4 みやけ

三宅島に伝わる伝統的な和太鼓奏法を、独楽のオリジナリティ溢れるアレンジでお聞き下さい。

※ 上記プログラム例は、参考です。各校のご担当者、先生方のご要望に基づき、多様なプログラム構成をご提案させていただきますので、お気軽にお問い合わせください。

5 和楽器紹介

日本の楽器の構造やしくみ、音の出し方等は、西洋楽器とも異なり大変興味深い物があります。

6 津軽じよんがら節

青森県 津軽地方に伝わる伝統的な太棹三味線の曲です。三味線の迫力ある「じよんがら」をお聴きください。

7 曲弾合戦

青森県の津軽地方を代表する三味線の曲です。太棹の三味線は、力強く、ダイナミックな音がします。

8 戦 [太太鼓～せん]

その昔、合戦の合図に使われた太鼓。太鼓の音には敵を驚かし、味方の士気を揚げる働きがありました。

9 ソーラン節

最後は、生徒の皆さんにもご参加いただいて、一番身近な民謡「ソーラン節」と一緒に楽しく叫いて下さい。

